

第4回 調布市道路網計画有識者委員会 議事要旨

1 日時

令和7年10月8日（水）午前9時～午前11時

2 場所

調布市役所会議室

3 議事

- （1）第3回委員会の振り返り
- （2）道路網計画の枠組み
- （3）目指すべき道路網
- （4）道路整備プログラム
- （5）市民参加

4 委員からの主な意見

（道路網計画の枠組み）

- ビジョンと都市計画マスタープランの関連性を分かりやすくしておくべき。
- 脱炭素の視点や災害時における自転車の活用などは、最新の国の動向も踏まえて、ビジョンの内容を追加すると良い。

（目指すべき道路網）

- 効果検証を行う際に設定するシナリオに関して、ACTの中で表現できるのか整理しておく必要がある。
- シナリオ設定の意図・目的を整理しておくことが望ましい。
- 東京都市圏 ACT（アクティビティ型の交通行動モデルによるシミュレータ）を用いた分析について、各シナリオの自動車交通量、平均旅行速度及びCO₂排出量の関係を整理しておく必要がある。
- 警視庁が公開している交通事故マップなどで、事故傾向を把握できると良い。

（道路整備プログラム）

- 市民からの視点だと、道路事業は着工しても完成までの期間が不明確であることが多い。そのため、着工から完成までの見通しを丁寧に示す必要がある。
- 地区内道路の優先度の考え方で、通学路のうち正門以外から登校する児童の経路も考慮したほうがよいのではないか。
- 消防活動困難区域の解消状況や、木密地域の改善状況を確認しておくが良い。
- 現行計画で位置付けられている計画検討路線については、検討状況や課題を整理し、計画上でも補足的に示すことに意義がある。

（市民参加）

- 道路ユーザーヒアリングの結果を、どのように整理していくか検討が必要。